

令和5～7年度入学生教育課程表

教科	科目	学年	1年		2年					3年							
		クラス	選抜・進学	国士館大学進学	選抜・進学				国士館大学進学		選抜・進学				国士館大学進学		
		類型			文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系	文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系	
		標準単位数															
国語	現代の国語	2	2	2													
	言語文化	2	2	2													
	論理国語	4			3	3	3		②		2	2	2		②		
	文学国語	4			2	2	2		②		3	3	3		②		
	国語表現	4															
	古典探究	4			3	3	3		2		2	2	2		2		
	受験国語演習*										1			(1)			
	理系国語*							2									
国語総合演習*		(1)													2		
国語合計		4	4	8	8	8	2	4	0	8	7	7	0	6	0		
地理歴史	地理総合	2	2	2													
	歴史総合	2	2	2													
	世界史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		③		
	日本史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		③		
公民	公共	2			2	2	2	2	2	2							
	政治・経済	2									(2)				(2)		
	地歴公民合計		4	4	5	5	5	2	4	2	5	5	3	0	3	0	
数学	数学Ⅰ	3	3	3													
	数学Ⅱ	4			4	2	2	4		4		2	2				
	数学Ⅲ	3												(3)			
	数学A	2	2	2													
	数学B	2						2		2							
	数学C	2						2									
	理系受験数学*													4			
	受験数学演習*																2
	受験数学ⅠA*										(2)						
	受験数学ⅡBC*										(2)						
数学ⅠA演習*		(1)															
数学合計		5	5	4	2	2	8	0	6	0	2	2	4	0	2		
理科	科学と人間生活	2			2	2	2		2	2							
	物理基礎	2						2		2							
	物理	4												⑥		④	
	化学基礎	2	2						2								
	化学	4						3	2					3		3	
	生物基礎	2		2				2			(2)						
	生物	4												⑥		④	
	理科演習*													(2)		(2)	
理科合計		2	2	2	2	2	7	2	6	0	0	0	9	0	7		
保健体育	体育	7～8	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1	1	1	1	1	1							
	武道*		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保健体育合計		5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3
芸術	音楽Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②							
	音楽Ⅱ	2											②				
	美術Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②				②			
	美術Ⅱ	2												②			
	書道Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②							
	書道Ⅱ	2											②				
芸術合計		0	0	2	2	2	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3													
	英語コミュニケーションⅡ	4			5	4	4	5	4	4							
	英語コミュニケーションⅢ	4									5	4	4	5	4	4	
	論理・表現Ⅰ	2	2	2													
	論理・表現Ⅱ	2			3	2	2	3	2	2							
	論理・表現Ⅲ	2									3	2	2	3	2	2	
	英語演習*		(1)												(2)	(2)	
英語合計		5	5	8	6	6	8	6	6	8	6	6	8	6	6	6	
家庭	家庭基礎	2	2	2													
家庭合計		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報	情報Ⅰ	2	2						2	2							
	情報合計		2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
小計			29	27	33	29	29	33	24	28	24	23	23	24	18	18	
総合的な探究の時間		3～6	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	
合計			30	29	34	30	30	34	25	29	25	25	25	25	20	20	
特別活動	HR	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

○数字は選択必修科目 () 内は自由選択科目 * は学校設定科目

●3か年履修単位数

選抜・進学	文Ⅰ	89
	文Ⅱ	85
	文Ⅲ	85
	理	89
国士館大学進学	進学文	74
	進学理	78

卒業認定は74単位以上

- ・1年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。
- ・HRは学校行事等を含む。
- ・総合的な探究の時間は学校行事等を含む。
- ・1年の自由選択科目は土曜日に行う。
- ・2年文Ⅰ・理系は土曜日必修授業とする。
- ・地歴の選択必修（日本史探究・世界史探究）は2・3年同じ科目を選択する。
- ・3年理科演習は、物理・化学・生物のいずれか1つを選択できる。
- ・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

令和7年度 高等学校使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2, 3年全文 2, 3年定文選
	文学国語	東書	文学国語	2, 3年全文 2, 3年定文選
	古典探究	東書	精選古典探究 (古文編・漢文編)	2, 3年文
	理系国語	東書	精選論理国語	2年全理
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
	日本史探究	山川	詳説 日本史	2, 3年文選
	世界史探究	山川	詳説 世界史	2, 3年文選
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	政治・経済	東書	政治・経済	3年選
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編 数学Ⅰ	1年
	数学A	啓林館	新編 数学A	1年
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	2年文Ⅰ, 全理
		啓林館	新編 数学Ⅱ	2, 3年文Ⅱ, Ⅲ 2年定理
	数学B	啓林館	数学B	2年全理
	数学B	啓林館	新編 数学B	2年定理
	数学C	啓林館	数学C	2年全理
		啓林館	新編 数学C	3年定理
	数学Ⅲ	啓林館	数学Ⅲ	3年全理選
理科	化学基礎	東書	化学基礎	1年全 2年定理
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年定 2年全理 3年全文選
	化学	東書	化学 (Vol.1 理論編・Vol.2 物質編)	2, 3年理
	物理	啓林館	高等学校 総合物理1、2	3年理選
	生物	東書	生物	3年理選
体育	保健体育	大修館	新高等保健体育	1, 2年
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	2年選
	美術Ⅰ	日文	高校美術	2年選
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	2年選
	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	3年文Ⅲ選
	美術Ⅱ	日文	高校生の美術2	3年文Ⅲ選
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	3年文Ⅲ選
情報	情報Ⅰ	実教	図説情報Ⅰ	1年全 2年定
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
英語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅰ	1年1組 1年定
		啓林館	LANDMARK English Communication Ⅰ	1年全
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard	1年
	英語コミュニケーションⅡ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅱ	2年文Ⅲ 2年定
		啓林館	ELEMENT English Communication Ⅱ	2年文Ⅰ, 全理
		啓林館	LANDMARK English Communication Ⅱ	2年文Ⅱ
	論理・表現Ⅱ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope	2年
	英語コミュニケーションⅢ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅲ	3年文Ⅲ 3年定
		啓林館	ELEMENT English Communication Ⅲ	3年文Ⅰ, 全理
		啓林館	LANDMARK English Communication Ⅲ	3年文Ⅱ
	論理・表現Ⅲ	三省堂	MY WAY Logic and Expression Ⅲ	3年文Ⅲ 3年定
		三省堂	CROWN Logic and Expression Ⅲ	3年文Ⅰ, Ⅱ, 全理

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週2時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	評論(情報)おじいさんのランプ 宇野常寛				話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わって いく本の在り方について考える。			
	5月～ 6月	防災評論プリント 評論(歴史)原始社会像の真実 新納 泉 ・第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験				・防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を 捉える見方を身につける。			
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	評論(言語)混じり合う言葉 ドミニク・チェン				筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見 方を広げる。			
後 期	10月	評論(時間)鏡の中の現代社会 見田宗介 第2回定期試験 国語常識・漢字語彙問題演習				さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相 対的に認識することの意義を理解する。			
	11月								
	12月								
春 休 み		・第1回定期試験範囲: 評論(情報)おじいさんのランプ、評論(歴史)原始社会像の真実 ・第2回定期試験範囲: 評論(言語)混じり合う言葉、評論(時間)鏡の中の現代社会							

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週 2 時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2組(文Ⅰ・選抜) 高等学校 3年4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	いつもそばには本があった 相手依存の自己決定 メディアの変容 日本人の美意識 大学入試過去問 小論文の構成・書き方 第1回 定期試験				論理展開を追いながら、内容を正確に理解し、読解力を高める 本文を正確に読み取り、正解を導き出す 小論文を書けるようになる			
夏 休 み		夏休みの宿題							
前期 ↓ 後期	9月～12月	おじいさんのランプ ロボットは意志を持つか				論理展開を追いながら、内容を正確に理解し、読解力を高める			
		社会の壊れるとき——知性的であるとはどういうことか							
		抗争する人間							
		東京防災(平成27年東京都発行)				防災に対する意識を高める			
		大学入試過去問				本文を正確に読み取り、正解を導き出す			
		小論文の構成・書き方				小論文を書けるようになる			
		第2回 定期試験							
		大学入試過去問				入試対策として、実践的に問題を解く練習をする			
冬 休 み									
備 考	授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある								
	漢字は『パーフェクト常用漢字』から出題する								
	【第一回 定期試験範囲】 いつもそばには本があった 相手依存の自己決定 メディアの変容 日本人の美意識 漢字								
	【第二回 定期試験範囲】 おじいさんのランプ ロボットは意志を持つか 社会の壊れるとき 抗争する人間 漢字								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週2時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組(文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	評論(情報)おじいさんのランプ 宇野常寛				話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わって いく本の在り方について考える。			
	5月～ 6月	防災評論プリント 評論(歴史)原始社会像の真実 新納 泉 ・第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験				・防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を 捉える見方を身につける。			
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	評論(言語)混じり合う言葉 ドミニク・チェン				筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見 方を広げる。			
後 期	10月 11月	評論(時間)鏡の中の現代社会 見田宗介 第2回定期試験				さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相 対的に認識することの意義を理解する。			
	12月	国語常識・漢字語彙問題演習							
春 休 み		・第1回定期試験範囲: 評論(情報)おじいさんのランプ、評論(歴史)原始社会像の真実 ・第2回定期試験範囲: 評論(言語)混じり合う言葉、評論(時間)鏡の中の現代社会							

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週2時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	評論(情報)おじいさんのランプ 宇野常寛				話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わって いく本の在り方について考える。			
	5月～ 6月	防災評論プリント 評論(歴史)原始社会像の真実 新納 泉 ・第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験				・防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷を 捉える見方を身につける。			
夏 休 み		夏期休暇課題							
前期	9月	評論(言語)混じり合う言葉 ドミニク・チェン				筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見 方を広げる。			
後 期	10月	評論(時間)鏡の中の現代社会 見田宗介 第2回定期試験 国語常識・漢字語彙問題演習				さまざまな異世界との比較を通して、自己の生きる世界を相 対的に認識することの意義を理解する。			
	11月								
	12月								
春 休 み		・第1回定期試験範囲: 評論(情報)おじいさんのランプ、評論(歴史)原始社会像の真実 ・第2回定期試験範囲: 評論(言語)混じり合う言葉、評論(時間)鏡の中の現代社会							

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週3時間	教材	文学国語(東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	詩歌『永訣の朝』宮沢賢治 詩歌『竹』萩原朔太郎 随筆『国語から旅立って』温又柔 大学入試問題演習 第一回定期試験				情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。			
夏休み									
前期	9月	小説『檸檬』梶井基次郎				語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を理解する。			
後期	10月～12月	詩歌「小諸なる古城のほとり」島崎藤村 小説『蠅』横光利一（防災教育） 第二回定期試験 大学入試問題演習				文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 人間の生のはかなさへの描写を通して命の大切さや防災についての理解を深める			
備考		第一回定期試験 範囲 第二回定期試験 範囲				「永訣の朝」/「竹」/「国語から旅立って」 「檸檬」/「小諸なる古城のほとり」/「蠅」			

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週3時間	教材	文学国語(東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組(文Ⅰ・選抜) 4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	小説『山椒魚』井伏鱒二 随筆『国語から旅立って』温又柔 詩歌『竹』萩原朔太郎 大学入試問題演習 第一回定期試験				語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。			
夏 休 み									
前期	9月	小説『檸檬』梶井基次郎				語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。			
後期	10月～12月	戯曲『父と暮らせば』井上ひさし (防災学習) 小説『葉桜と魔笛』太宰治 詩歌『小諸なる古城のほとり』島崎藤村 第二回定期試験 大学入試問題演習				対話を軸にした戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考える。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色に注目し、登場人物の心情を理解し味わう。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。			
備考		第一回定期試験 範囲 「山椒魚」/「国語から旅立って」/「竹」 第二回定期試験 範囲 「檸檬」/「父と暮らせば」/「小諸なる古城のほとり」/「葉桜と魔笛」							

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週3時間	教材	文学国語(東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5～8組(文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	小説『山椒魚』井伏鱒二 詩歌『竹』萩原朔太郎 随筆『国語から旅立って』温又柔 大学入試問題演習 第一回定期試験				語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。			
夏 休 み									
前期	9月	小説『檸檬』梶井基次郎				語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。			
後 期	10月～12月	詩歌『小諸なる古城のほとり』島崎藤村				文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。			
		小説『蠅』横光利一 (防災学習)				文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。			
		小説『葉桜と魔笛』太宰治 (防災学習)				人間の生のはかなさへの描写を通して命の大切さや防災について考える。			
		第二回定期試験 大学入試問題演習				語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色に注目し、登場人物の心情を理解し味わう。			
備考		第一回定期試験 範囲 「山椒魚」/「竹」/「国語から旅立って」 第二回定期試験 範囲 「檸檬」/「蠅」/「小諸なる古城のほとり」/「葉桜と魔笛」							

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週 2 時間	教材	文学国語 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年9組 (国士舘大学進学クラス・文系選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	【文学のふるさと】坂口安吾				具体例や引用と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学の価値や意義について考える。			
		【檸檬】梶井基次郎				小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。			
		★防災学習				◆天災に関する資料や作品等を読み、自分の考えを言葉に綴ることで、各自防災への意識を高める。			
		第 一 回 定期試験							
夏 休 み		★国語科課題				◆読書感想文(校内コンクール) ※任意 ◆短歌(東洋大学／外部コンクール) ◆俳句(神奈川大学／外部コンクール)			
前期 後期	9月～12月	「小諸なる古城のほとり」 島崎藤村				詩歌の表現の特色を理解して味わい、言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。			
		「舞姫」森 鷗外				文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解し、人間の生き方について考えを深める。			
		第 二 回 定期試験							
	12月	定期試験の見直し・復習プリント							
冬 休 み									
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります★								
	※ 定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。								
	【第一回 定期試験範囲】 「文学のふるさと」／「檸檬」								
	【第二回 定期試験範囲】 「小諸なる古城のほとり」／「舞姫」								
※テストは、学習課題ノートや便覧等事前に指定した副教材からも出題する。また、「新国語問題総演習 四訂版」は自習用テキストとする。									

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 2 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年1組 (文Ⅲ)								
		項目				到達目標			
前期	4月 ┆	日記 『更級日記』『門出』(菅原孝標女) 5月 ┆ 『紫式部日記』『女郎花』(紫式部) 6月 ┆ 儒家の思想 『論語 二章』(孔子) ┆ 『仁人心也、義人路也』『君子有三楽』(孟子) 7月 ┆ 『文学史』(完成 日本文学史ノート) 第一回定期試験				・日記が文学として確立した流れを学ぶ。 ・物語に対する少女らしい憧れを理解する。 ・様々な日記を読み、特色について理解する。 ・紫式部の鋭い観察力をうかがう。 ・人間を巡る様々な思想を読み取る。 ・人間の生き方や日本への影響について学ぶ。 ・体系的な文学史の流れを理解する。			
夏 休 み									
前期	9月 ┆	説話 『宇治拾遺物語』『伴大納言、応天門を焼くこと』				・説話を多角的な視点から読む。 ・授業の中で防災の意識を定着させる。			
後期	10月 ┆	評論 『無名抄』『おもて歌のこと』(鴨長明) 『無名草子』『清少納言』 11月 ┆ 史話 『三国志の世界』『赤壁之戦』 12月 ┆ 『文学史』(完成 日本文学史ノート) 第2回定期試験 定期試験の見直し・復習プリント				・評論を読み、論旨をとらえる。 ・登場人物の行動や心情をとらえる。 ・体系的な文学史の流れを理解する。			
冬 休 み									
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★								
	※古文単語テストを適宜実施								
	※学習課題ノートを適宜使用し、単元の復習・確認に努める。								
	※定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。								
	第一回定期試験 日記／儒家の思想／日本文学史								
	第二回定期試験 説話／評論／史話／日本文学史								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 2 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年2組(文Ⅰ・選抜) 高等学校 3年4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	日記文学『和泉式部日記』・夢よりもはかなき世の中を				日記文学の自照性に触れることで、ものの見方・考え方を広げる。			
		自叙伝『折りたく柴の記』(入試問題)				江戸時代の地震・防災意識を学習する。入試過去問題によって総合的学力を身につける。			
		漢文 『十八史略』・赤壁之戦				『三国志』における中国の当時の世界観を知る。			
		第一回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	評論 『無名草子』・紫式部				評論から古人の文学作品の評価や考え方を学ぶ。			
		日記文学『紫式部日記』・日本紀の御局				平安時代の宮中における暮らしや考え方を知る。			
後 期	10月～11月 12月	物語 『源氏物語』・萩の上露(御法)				『源氏物語』を通して「単語」「文法」「読解」「文学史」を学習し、「入試に対する力」と「古典を活用する力」を総合的に身につける。			
		漢文 入試問題				入試過去問題によって漢文の総合的学力を身につける。			
		第二回定期試験							
		定期試験の見直し・復習プリント							
冬 休 み									
備考		※小テストを実施。(単語、文法、古典常識等)							
		※大学入試問題等を活用して入試対策をしていく。							
		第一回定期試験				歴史物語、評論、漢文、古文単語、文学史			
		第二回定期試験				日記文学、物語、漢文、古文単語、文学史			

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 2 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年5～8組 (文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月 ┆	日記 『更級日記』『門出』(菅原孝標女)				・日記が文学として確立した流れを学ぶ ・物語に対する少女らしい憧れを理解する ・様々な日記を読み、特色について理解する。 ・紫式部の鋭い観察力をうかがう。			
	5月 ┆	『紫式部日記』『女郎花』(紫式部)							
	6月 ┆	儒家の思想 『論語 二章』(孔子) 『仁人心也、義人路也』『君子有三楽』(孟子)							
	7月	『文学史』(完成 日本文学史ノート) 第一回定期試験				・体系的な文学史の流れを理解する。			
夏 休 み									
前期	9月 ┆	説話 『宇治拾遺物語』『伴大納言、応天門を焼くこと』				・説話を多角的な視点から読む。 ・授業の中で防災の意識を定着させる			
後期	10月 ┆	評論 『無名抄』『おもて歌のこと』(鴨長明) 『無名草子』『清少納言』				・評論を読み、論旨をとらえる。 ・登場人物の行動や心情をとらえる。			
	11月 ┆	史話 『三国志の世界』『赤壁之戦』							
	12月	『文学史』(完成 日本文学史ノート) 第2回定期試験 定期試験の見直し・復習プリント							
	冬 休 み								
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★								
	※古文単語テストを適宜実施								
	※学習課題ノートを適宜使用し、単元の復習・確認に努める。								
	※定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。								
	第一回定期試験 日記／儒家の思想／日本文学史								
	第二回定期試験 説話／評論／史話／日本文学史								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週 2 時間	教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年9組 (国士舘大学進学クラス・文系選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	古典文法の復習				これまでに学習をした文法の復習。 文法の準拠ワーク等を適宜使用する。			
	5月・6月	【大和物語】「姨捨」 【枕草子】「すさまじきもの」 第 一 回 定期試験				登場人物である「男」の心情の変化を読み取る。 文法を理解し、内容を深める。 人々の行動と心情を整理し、理解する。			
	夏 休 み								
前期・ 後期	9月～12月	防災教育				資料を用意して、平安時代に災害とどう向き合ってきたのかを知り、現代との共通点や防災への意識を高める。			
		【無名草子】「清少納言」 【無名草子】「紫式部」				評論を読むことで、古人の文学作品の評価や考え方を学ばせ、自己の論理の構築に役立たせる。 あわせて、評論からその作品の価値を再確認させる。			
		『論語』・『孟子』・『荀子』・『老子』 『莊子』・『韓非子』・『墨子』・『漢詩』 第 二 回 定期試験 定期試験の見直し・復習プリント				中国古典の主な思想をとりあげ、重要句法に注意しながら現代語訳し、内容を論理的に読み取る。			
冬 休 み									
備考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★								
	※古文単語テストを適宜実施 ※大学入試問題や模擬試験問題等を活用し、入試対策も行う。 ※定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。								
	第一回定期試験 「姨捨」／「すさまじきもの」／文法／文学史／大学入試問題／その他 第二回定期試験 「清少納言」／「紫式部」／漢文から一～二題／文法／文学史／大学入試問題／その他								

教科	国語	科目	受験国語	授業 時数	週1時間	教材	過去問	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(文Ⅰ・選抜) 4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	大学入試問題演習				日東駒専などの過去問題を使って演習を行う。			
		防災学習				過去問題で「養和の飢饉」などを扱い、過去の災害の記録を読み、防災の意義を学ぶ。			
		古文の文法や漢文の文法の確認							
		第一回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月								
後期	10月～12月	大学入試問題演習				日東駒専などの過去問題を使って演習を行う。			
		古文の文法や漢文の文法の確認							
		第二回定期試験							
		大学入試問題演習							
備考		第一回定期試験 範囲 初見の問題/古文、漢文の文法問題 第二回定期試験 範囲 初見の問題/古文、漢文の文法問題							

教科	国語	科目	高3受験国語	授業 時数	週1時間	教材	プリント	種 別	高校
学年 組 類型	高校3年2・3組理系								
		項目				到達目標			
前期	4月	大学入試現代文重要語句・漢字・キーワード等の 語彙力を養いつつ演習問題に取り組む 防災についての評論文 評論文の大学入試問題演習 第1回定期試験(授業内試験)				現代文の重要語句・語彙力を向上させる。			
	5月					リスクマネジメントの観点から防災について考える。			
	6月					入試現代文の読解力を向上させる。			
	夏 休 み		夏期休暇課題						
前期	9月	看護系・理工学部の大学入試問題に取り組む				入試現代文の読解力を向上させる。			
後期	10月	看護系・理工学部の大学入試問題に取り組む 共通テスト・センター試験の過去問題に取り組む 大学入試問題演習 第2回定期試験(授業内試験)				過去の入試問題に取り組むことにより、受験に必要な知識と 技術を身につけさせる。			
	11月								
	12月								
備考		定期テストは授業内に実施する。							

教科	国語	科目	国語総合演習	授業 時数	週 2 時間	教材	新国語問題総演習 四訂版 大学入試過去問題プリント等	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年9組 (国士舘大学進学クラス・文系選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月～7月	【古文】復習プリント				基礎的な文法事項の復習を行う。			
		【漢字・四字熟語・語彙】演習プリント				教材を作成し演習を行う。			
		【評論文・小説】演習プリント				大学入試問題等から演習を行う。			
		★防災学習／小論文				◆天災に関する資料や作品等を読み、自分の考えを言葉に綴ることで、各自防災への意識を高める。			
		第 一 回 定期試験							
夏 休 み									
後期	9月～12月	【古文】演習プリント				大学入試問題等から演習を行う。			
		【漢字・四字熟語・語彙】演習プリント				教材を作成し演習を行う。			
		【評論文・小説】演習プリント				大学入試問題等から演習を行う。			
		第 二 回 定期試験							
		定期試験の見直し・復習プリント							
冬 休 み									
備 考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★								
	【第一回 定期試験範囲】 授業内で取り扱った作品と同レベルの初見問題／新国語問題総演習 四訂版 等								
	【第二回 定期試験範囲】 授業内で取り扱った作品と同レベルの初見問題／新国語問題総演習 四訂版 等								

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週5時間	教材	詳説世界史探究 (山川出版)	種 別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年2組・4組(選択)									
時期		項目				到達目標				
前期	4月	・中国文明～古代王朝時代(殷・周)				・中国文明の成立と、黄河を中心とした中国初期王朝の特徴を学ぶ。				
		・春秋戦国時代・諸子百家 ・秦漢時代				・諸子百家思想と秦漢時代に成立した、東アジア統一社会の基礎構造を学ぶ。				
	5月	・魏晉南北朝時代・隋唐時代				・モンゴル高原を中心に、周辺諸民族と中国の関係を理解する。 ・中国異民族王朝の成立と、アジアの国際化について学ぶ。				
		・宋時代・元時代				・伝統的な中国文化の発達と、モンゴル文化の違いについて考える。				
	6月	・明時代・清時代				・冊封体制によるアジア世界統一の流れを確認する。				
		・東アジアの諸民族 (朝鮮半島・モンゴル高原・南アジア・東南アジア)				・古代～近世における、中国周辺諸民族を整理し、理解する。				
	7月	・イスラーム教の成立・イスラーム帝国の拡大と分裂				・イスラーム教の誕生と拡大について理解する。				
		第1回定期試験								
	夏期休暇課題: 中国文化史 目標: 各時代の中国文化を学び、中国史の背景をより深く理解すること									
	9月	・中世～近世イスラーム時代				・中東イスラーム社会の発展と、アフリカ・西アジア・南アジアでの現地文化とイスラーム文化の融合について理解する。				
後期	10月	・19世紀のヨーロッパ社会 (イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・アメリカ・ロシア)				・近代社会の成立について、自由主義思想や愛国主義を軸に新勢力と旧勢力の対立構造などを包括的に学ぶ。				
	11月	・帝国主義の拡大 ・二つの世界大戦				・20世紀の経済停滞と、それに伴う植民地政策の拡大、国際戦争などの流れを理解する。				
		第2回定期試験								
	12月	・冷戦世界～現代の社会				・現代の社会問題につながる諸問題を整理し、現代社会の問題の解決を図る。				
		・防災学習: 中国唐山地震から学ぶ								
	1月 2月 3月	・自宅学習				・それぞれ自分の目標に沿った内容を各自で学習する。				

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週5時間	教材	詳説世界史（山川出版）	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5・6組（選択）								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	中国の古典文明 殷～漢帝国			・中国文明の起源を理解する ・中華文明の形成期の社会や文化を理解する。				
	5月	北方民族活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 モンゴルの大帝国			・中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と諸地域に与えた影響を理解する。				
	6月	アジア諸地域の繁栄 明朝と隣接諸地域			・アジア諸地域の動向を確認し理解する。 ・明朝の経済、文化を理解する。				
	7月	清代の中国と隣接諸地域 東アジアの激動 第1回定期試験実施			・清朝の社会、文化を理解する。 ・清朝の危機と日本の開港 ・中国古典文明から東アジアの激動				
	夏 休 み	大学入試問題の研究・復習、ノート整理			・主題学習に積極的に取り組ませる。 ・進度にあわせて史料問題・文化史問題に取り組む ・歴史の流れを縦だけでの理解に留めず、横(国や地域間)にも幅広く理解する				
	前期	9月	世界の災害・防災を考察			・調べ学習			
イスラーム世界の形成			・ムハンマドの活動やイスラーム教の特質を把握する。						
後期	10月	イスラーム世界の発展 イスラーム文明の発展			・アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する ・イスラーム文明を学び、形成されたネットワークを理解する。				
	11月	トルコ化とイスラーム化の進展 インドの古典文明 ムガル帝国の興隆 第2回定期試験実施			・イスラーム文明を学び、形成されたネットワークを理解する。 ・インド文明の成立と発展を理解する。 インド社会におけるイスラームの浸透を理解する。				
	12月	アジア諸地域の動揺			・アジア諸地域の動向を確認し理解する。				
	冬 休 み	自宅学習			・各自が不得意とする分野の復習・問題演習 ・過去問題を解いて出題傾向に慣れる				
1 月	自宅学習			各自で自分の目標に沿った問題演習・復習を行う					

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説世界史探究 (山川出版)	種 別	高校	
学年 組 類型	高等学校3年9組(選択)									
時期		項目				到達目標				
前期	4月	・中国文明～古代王朝時代(殷・周)				・中国文明の成立と、黄河を中心とした中国初期王朝の特徴を学ぶ。				
		・春秋戦国時代・諸子百家 ・秦漢時代				・諸子百家思想と秦漢時代に成立した、東アジア統一社会の基礎構造を学ぶ。				
	5月	・魏晉南北朝時代・隋唐時代				・モンゴル高原を中心に、周辺諸民族と中国の関係を理解する。 ・中国異民族王朝の成立と、アジアの国際化について学ぶ。				
		・宋時代・元時代				・伝統的な中国文化の発達と、モンゴル文化の違いについて考える。				
	6月	・明時代・清時代				・冊封体制によるアジア世界統一の流れを確認する。				
		・東アジアの諸民族 (朝鮮半島・モンゴル高原・南アジア・東南アジア)				・古代～近世における、中国周辺諸民族を整理し、理解する。				
	7月	・イスラーム教の成立・イスラーム帝国の拡大と分裂				・イスラーム教の誕生と拡大について理解する。				
		第1回定期試験								
	夏期休暇課題: 中国文化史 目標: 各時代の中国文化を学び、中国史の背景をより深く理解すること									
	9月	・中世～近世イスラーム時代				・中東イスラーム社会の発展と、アフリカ・西アジア・南アジアでの現地文化とイスラーム文化の融合について理解する。				
後期	10月	・19世紀のヨーロッパ社会 (イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・アメリカ・ロシア)				・近代社会の成立について、自由主義思想や愛国主義を軸に新勢力と旧勢力の対立構造などを包括的に学ぶ。				
	11月	・帝国主義の拡大 ・二つの世界大戦				・20世紀の経済停滞と、それに伴う植民地政策の拡大、国際戦争などの流れを理解する。				
		第2回定期試験								
	12月	・冷戦世界～現代の社会				・現代の社会問題につながる諸問題を整理し、現代社会の問題の解決を図る。				
		・防災学習: 中国唐山地震から学ぶ								
	1月 2月 3月	・自宅学習				・それぞれ自分の目標に沿った内容を各自で学習する。				

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史 (山川出版社)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	平安王朝の形成 貴族政治と国風文化				- 平安時代の政治・文化について理解させる。 - 貴族によっておこなわれた政治が現代にどのように継承されているかについて考えさせる。			
	5月								
	6月	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会				- 貴族社会から武士社会への変化の過程について理解させる。 - 武家社会の特徴を学び、近代日本への道筋を理解させる。			
	7月								
		室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 戦国大名の登場 織豊政権				- 武家社会の形態の移り変わりについて理解させる。 - 武家社会の発展について学び、政治の経済・文化との関わりについて考えさせる。			
		※各時代の文化については、プリント等で確認する。							
		第一回定期試験				平安王朝の形成～織豊政権			
夏 休 み		内部推薦試験対策							
前期	9月	幕藩体制の成立				江戸幕府成立までの流れを学び、江戸幕府の制度の利点や問題点について考えさせる。			
後期	10月	幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展				- 長期に渡って続いた江戸幕府の政治体制の移り変わりについて理解させる。 - 当時の人々の生活構造について学び、人々がを送るためにを理解する。			
	11月								
		幕政の改革				江戸幕府が抱えていた問題と三大改革の目的を相互的に理解させる。			
		幕府の衰退と近代への道				経済政策と民衆の不満の高まりがあった事を理解させ、幕府衰退の要因について考えさせる。			
		第二回定期試験				幕藩体制の成立～幕府の衰退と近代への道			
		江戸中期の宝永の富士山噴火とその被害について (防災学習)				噴火によってどのような災害が起き、その後どのように人々が対策を進めたのかについて理解させる。(防災)			
冬 休 み									

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週5時間	教材	詳説日本史 (山川出版社)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	近世の幕開け				戦国期、信長・秀吉の時代の政治・社会について学習する。			
	5月	幕藩体制の成立と展開				江戸幕府初期の支配体制・外交・社会・経済について学習する。			
	6月	幕藩体制の動揺				江戸幕府中期の支配体制・外交・社会・経済について学習する。			
	7月	第一回定期試験				織豊政権～幕藩体制の動揺			
夏 休 み		問題演習				夏休みの課題			
前期	9月	近世から近代へ				幕末の政治・経済・外交について学習する。			
		近代国家の成立				明治維新期の変革について学習する。			
後期	10月	近代国家の展開				明治後期・大正・昭和の政治・経済について学習する。			
	11月					太平洋戦争への道筋について学習する。			
		第二回定期試験				江戸幕末～現代			
	12月	防災学習				※防災学習を実施する。(関東大震災と防災)			
冬 休 み		自宅学習				各自が不得意とする分野の復習・問題演習 進度にあわせて史料問題・文化史問題に取り組む 過去問題を解いて出題傾向に慣れる			
後期	1月	自宅学習				各自で自分の目標に沿った問題演習・復習を行う			
	2月								
春 休 み									

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週5時間	教材	詳説日本史 (山川出版社)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年5～8組(文Ⅱ)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	織豊政権			戦国期、信長・秀吉の時代の政治・社会について学習する。				
	5月	幕藩体制の成立			江戸幕府初期の支配体制・外交について学習する。				
	6月	幕藩社会の構造			江戸時代初期の社会・経済について学習する。				
	7月	幕政の安定			元禄期・正徳の治、当時の経済について学習する。				
	7月	幕政の改革			享保の改革・田沼時代の政治・経済・外交について学習する。				
夏 休 み		問題演習			夏休みの課題				
前期	9月	経済の発展			幕藩体制期の農業や商工業の発展について理解する。				
		幕府の衰退と近代への道			寛政・天保の改革を中心に、当時の外交についても学習する。				
後期	10月	江戸幕府の滅亡・開国・近代国家の成立			幕末の政治・外交から明治初期の政治について学習する。				
	11月	明治初期の対外関係・新政府への反抗			明治初期の外交と、それに伴う反政府運動を学ぶ				
	12月	第二回定期試験			経済の発展～新政府への反乱				
冬 休 み		防災学習			日本の歴史上の災害とそれにより進展した防災技術を学ぶ。				
		自宅学習			各自が不得意とする分野の復習・問題演習 進度にあわせて史料問題・文化史問題に取り組む 過去問題を解いて出題傾向に慣れる				
後期	1月	自宅学習			各自で自分の目標に沿った問題演習・復習を行う				
	2月								

教科	地理・歴史	科目	日本史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史 (山川出版社)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	平安王朝の形成 貴族政治と国風文化				- 平安時代の政治・文化について理解させる。 - 貴族によっておこなわれた政治が現代にどのように継承されているかについて考えさせる。			
	5月								
	6月	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会				- 貴族社会から武士社会への変化の過程について理解させる。 - 武家社会の特徴を学び、近代日本への道筋を理解させる。			
	7月								
		室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 戦国大名の登場 織豊政権				- 武家社会の形態の移り変わりについて理解させる。 - 武家社会の発展について学び、政治の経済・文化との関わりについて考えさせる。			
		※各時代の文化については、プリント等で確認する。							
		第一回定期試験				平安王朝の形成～織豊政権			
夏 休 み		内部推薦試験対策							
前期	9月	幕藩体制の成立				江戸幕府成立までの流れを学び、江戸幕府の制度の利点や問題点について考えさせる。			
後期	10月	幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展				- 長期に渡って続いた江戸幕府の政治体制の移り変わりについて理解させる。 - 当時の人々の生活構造について学び、人々がを送るためにを理解する。			
	11月								
		幕政の改革				江戸幕府が抱えていた問題と三大改革の目的を相互的に理解させる。			
		幕府の衰退と近代への道				経済政策と民衆の不満の高まりがあった事を理解させ、幕府衰退の要因について考えさせる。			
		第二回定期試験				幕藩体制の成立～幕府の衰退と近代への道			
	12月	江戸中期の宝永の富士山噴火とその被害について(防災学習)				噴火によってどのような災害が起き、その後どのように人々が対策を進めたのかについて理解させる。(防災)			
冬 休 み									

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数	週2時間	教材	政治・経済 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年(自由選択) 2,4,5,6,7,8組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施				・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.80～			
		第2章 現代日本の経済 第1節 現代の資本主義経済				・人はなぜ経済活動を行うのかを考える。			
		①経済社会の意義				教科書p.80～92			
	5月	②資本主義経済の発展と変容 第2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環				・資本主義経済の特徴と成立過程、人間の経済活動の歴史について学び、今日の資本主義経済の課題について考える。 ・三つの経済主体の関りを理解する。			
前期	6月	②生産のしくみと企業				教科書p.92～95 ・企業の活動、株式会社のしくみを理解する。			
		③市場経済の機能と限界				教科書p.96～104 ・市場経済のしくみ、市場の失敗を学ぶ。 ・経済成長の規模や変化、景気変動のしくみについて学ぶ。			
		④国民所得と経済成長							
	7月	第1回 確認試験(試験範囲:4～7月までの内容)				・時事問題について理解を深め、実践力を身に着ける			
夏 休 み	7～8月	大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要に応じて対応							
前期	9月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施				・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.105～118 ・金融の役割、中央銀行の金融政策を学ぶ。また、政府の財政政策、租税の役割について考える。			
後期	10月	第3節 日本経済の発展と現状				教科書p.119～127			
		①戦後日本経済の発展				・日本経済について、さまざまな経済政策や世界経済との関りを踏まえて理解する。あ			
	11月	第4節 福祉社会と日本経済の課題				教科書p.142～155 ・労働者の権利や法、働き方について考える。また、日本の社会保障制度を理解し、その課題を探る。			
		⑥雇用と労働問題⑦社会保障と福祉				教科書p.156～			
後期		第3章 現代日本の諸課題							
		第2回確認試験(試験範囲:上記単元項目)				・時事問題について理解を深め、実践力を身につける			
冬 休 み	12月	【防災学習】東日本大震災とお金の話				経済分野に関連付けて、東日本大震災の被害額・国が行った支援の総額などお金の動きについて学ぶ。			
		大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要に応じて対応							

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数	週2時間	教材	政治・経済 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組(自由選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 第2章 現代日本の経済 第1節 現代の資本主義経済 ①経済社会の意義				・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.80～ ・人はなぜ経済活動を行うのかを考える。			
	5月	②資本主義経済の発展と変容 第2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環				教科書p.80～92 ・資本主義経済の特徴と成立過程、人間の経済活動の歴史について学び、今日の資本主義経済の課題について考える。 ・三つの経済主体の関りを理解する。			
	6月	②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長				教科書p.92～95 ・企業の活動、株式会社のしくみを理解する。 教科書p.96～104 ・市場経済のしくみ、市場の失敗を学ぶ。 ・経済成長の規模や変化、景気変動のしくみについて学ぶ。 ・時事問題について理解を深め、実践力を身に着ける			
	7月	第1回 確認試験 (試験範囲:4～7月までの内容)							
夏 休 み	7～8月	大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要に応じて対応							
前期	9月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能				・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.105～118 ・金融の役割、中央銀行の金融政策を学ぶ。また、政府の財政政策、租税の役割について考える。			
後 期	10月	第3節 日本経済の発展と現状 ①戦後日本経済の発展				教科書p.119～127 ・日本経済について、さまざまな経済政策や世界経済との関りを踏まえて理解する。あ 教科書p.142～155 ・労働者の権利や法、働き方について考える。また、日本の社会保障制度を理解し、その課題を探る。 授業では、防災的な視点、災害対策について触れられるようにする。			
	11月	第4節 福祉社会と日本経済の課題 ⑥雇用と労働問題⑦社会保障と福祉 第2回確認試験 (試験範囲:上記単元項目)							
冬 休 み		大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要に応じて対応							

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ), 高等学校3年5～8組(文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第5章 指数関数と対数関数 第1節. 指数と指数関数				指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにし、 指数関数のグラフをかけるようにする。			
	5月	第2節. 対数と対数関数				対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 対数関数のグラフをかけるようにする。			
	6月					対数の方程式・不等式を解けるようにする。			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第6章 微分と積分 第1節. 微分係数と導関数				微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。			
後期	10月	第2節. 導関数の応用				関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ 関数のグラフをかけるようにする。 不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。 定積分の性質や公式を理解して、計算ができるようにする。 平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを 理解させ、面積を求められるようにする。			
	11月	第3節. 積分 第2回定期試験							
	12月	課題学習				防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
	3月								
春 休 み									

教科	数学	科目	数学Ⅲ	授業 時数	週 3 時間	教材	啓林館 数学Ⅲ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組(理系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4・5・6・7月	第2章 関数とその極限 第1節 分数関数と無理関数 第2節 関数の極限と連続性 第3章 微分法 第1節 微分と導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第3節 導関数と関数のグラフ 第1回定期試験				分数関数・無理関数はグラフが描けるようにする。 逆関数・合成関数を理解する。 極限値の性質を理解する。いろいろな関数の極限を理解する。 いろいろな関数の導関数を求める。 微分概念と連続な関数との関係を把握する。 微分法の演算、積・章の微分法、 合成関数の微分法の演算技法を使えるようにする。 接線の方程式を求める。 平均値の定理と関数の増減の基本性質を理解する。 増減表を完成させる。 実数解の個数を調べる。			
	夏休み								
前期	9月	第4節 微分法の応用				変曲点や極値の判定をする。 運動や速度と微分法の関係を知る。			
後期	10・11月	第4章 積分法 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用 第2回定期試験				関数の積分を知る。 部分分数を理解する。 置換積分法・部分積分法を理解する。 定積分へ応用する。 偶関数・奇関数の利用。 いろいろな面積を積分で求める。 回転体・立方体の体積を求める。 Y軸の周りの回転体の体積と区分求積法と定積分の関係を学ぶ。			
	12月					防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
冬休み									

教科	数学	科目	理系受験数学	授業 時数	週4時間	教材	啓林館 FocusGoldSmart数学Ⅱ FocusGoldSmart数学B+C	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組(理系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	数学Ⅱ 第1章 式と計算				FoucsGoldSmartの各章の「例題の***」を中心に演習する。			
	5月	第2章 高次方程式							
		第3章 図形と方程式							
	6月	第4章 三角関数							
		第5章 指数関数と対数関数							
	7月	第6章 微分法							
		第7章 積分法							
		第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	数学B+C 第1章 数列				FoucsGoldSmartの各章の「例題の***」を中心に演習する。			
後 期	10月	第3章 平面上のベクトル				FoucsGoldSmartの各章の「例題の***」を中心に演習する。			
	11月	第4章 空間のベクトル							
		第2回定期試験							
	12月	総合演習							
						防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
冬 休 み									
後 期	1月								
	2月								
	3月								

教科	数学	科目	受験数学演習	授業 時数	週2時間	教材	数研出版 ベーシックス タイトル数学演習 I A II BC	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	数学Ⅰ 数と式、2次関数				受験に向けての応用問題を解く能力を養う 展開と因数分解、1次不等式、命題、2次関数の応用			
	5月	図形と計量 数学A 場合の数				三角比の応用、データの分析、場合の数の応用			
	6月	確率、図形の性質、整数の性質				確率、三角形と円、空間図形、整数の性質の応用			
	7月	第1回定期試験				防災に関連付けた内容を授業に取り入れる			
夏 休 み									
前期	9月	数学Ⅱ 式と証明、複素数と方程式				二項定理、整式の割り算、恒等式、等式・不等式の証明の応用 複素数、解と係数の関係、高次方程式の応用			
後期	10月	図形と方程式、三角関数				直線・円の方方程式、軌跡と領域、三角関数の応用			
	11月	指数関数と対数関数、微分と積分				指数関数と対数関数、微分法と積分法の応用			
	12月	第2回定期試験 数列				等差数列・等比数列とその和、 Σ の性質、階差数列、漸化式、 数学的帰納法の応用			
冬 休 み									
後期	1月 2月								

教科	数学	科目	高校3年 受験数学ⅠA	授業 時数	週2時間	教材	数研出版 ベーシック スタイル数学演習	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1章 数と式				数学Ⅰ、数学Aの内容を復習し、受験に向けて実力養成をはかる。			
	5月	第2章 2次関数				展開、因数分解、平方根、絶対値、条件と命題			
	6月	第3章 図形と計量				グラフの平行移動、最大値・最小値、2次関数の決定、2次不等式、2次方程式			
	7月	第1回定期試験				三角比、相互関係、正弦定理・余弦定理、三角形の面積、円に内接する四角形、空間図形			
夏休み						防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
前期	9月	第4章 データの分析				平均値と分散			
後期	10月	第5章 場合の数と確率				場合の数、順列、円順列、重複順列、組合せ、同じものを含む順列、確率、反復試行の確率、条件付き確率、期待値			
	11月	第6章 図形の性質				チェバの定理、メネラウスの定理、円の性質、多面体			
	12月	第7章 整数の性質				余りによる整数の分類、1次不定方程式、 n 進法			
		第2回定期試験							
冬休み									
後期	1月								
	2月								

教科	数学	科目	高校3年 受験数学ⅡBC	授業 時数	週2時間	教材	数研出版 ベーシック スタイル数学演習	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	式と証明				数学Ⅱ、B、Cの内容を復習し、受験に向けて実力養成をはかる。			
	5月	複素数と方程式				二項定理、整式の除法、恒等式、等式・不等式の証明			
		図形と方程式				複素数と2次方程式、解と係数の関係、剰余の定理、因数定理、高次方程式			
	6月	三角関数				直線・円の方程式、円と直線、2つの円、軌跡、領域			
	7月	第1回定期試験				加法定理、三角関数の合成、			
夏 休 み						防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
前期	9月	指数関数と対数関数				指数・対数の計算、指数・対数の方程式・不等式、最大・最小、常用対数			
後期	10月	微文法と積分法				平均変化率と微分係数、接線、極大・極小、最大・最小、方程式の実数解の個数、不等式への応用			
	11月	数列				定積分の計算、定積分で表された関数、面積			
		ベクトル				等差数列、等比数列、数列の和、種々の数列、漸化式、数学的帰納法、			
	12月	第2回定期試験				内積、ベクトルと平面図形、空間のベクトルの垂直、座標空間における図形、空間ベクトルと図形、			
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								

教科	理科	科目	物理	授業 時数	週6時間	教材	総合物理1,2 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(必修選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4～6月	物理基礎の続き(第1部3章 仕事とエネルギーから) 第3章 仕事とエネルギー 仕事, 仕事率, 運動エネルギー, 位置エネルギー 弾性エネルギー, エネルギー保存則 第2部 物理現象とエネルギー 第1章 熱とエネルギー 熱と温度, 気体の状態変化, エネルギーの変換と保存 第2章 波とエネルギー ＜波動＞				エネルギーの概念について理解を深める。仕事, 仕事率の定義と計算の仕方について学ぶ。 運動する物体がもつエネルギー, 重力場にある物体が潜在的に有するエネルギー, ばねによってつながれた物体が有するエネルギーを定式化する。 熱の概念, 温度の定義, 比熱と熱容量の違いなどについて理解する。熱量の保存や物体そのものがもつエネルギー(内部エネルギー)の概念について理解を深める。 エネルギーの変換と保存について理解を深める。 波の概念, 波の伝播, 波の種類(縦波と横波), 波の重ね合わせ, 反射, 屈折, 干渉, 回折などの波が有するいくつかの性質について理解を深める。波の表し方について学ぶ。 地震波の伝播の仕組みを地球の内部構造と照らし合わせながら考える。			
	7月	(第3章 光の性質) 専門の教科書 第3章 電気とエネルギー				音の性質を一般的な波の性質と関連付けながら理解する。 物理基礎で学んだ波動の基本概念を光に応用して考察する。 電気の発生原因とその物理的性質について理解する。 電流の定義と電気抵抗について理解する。合成抵抗の計算をマスターする。電磁誘導現象を知り, モーターや発電機などの応用と関連付ける。交流について直流と比較しながらその性質を理解する。電磁波の種類と応用例を知る。			
	7月	第1回定期試験							
前期	9月	第1部 様々な運動 第1章 物体の運動とつり合い 第2章 運動量と力積				直線運動の発展として, 放物運動を定式化し任意の点における速度や距離を求められるようにする。剛体のつり合いについて力のモーメントの概念を理解する。 運動量の定義, 運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。反発係数について理解する。			
後期	9月	第3章 円運動と単振動 第4章 万有引力 第5章 気体分子の運動 (熱とエネルギー) 基礎の教科書				円運動と円運動における速度, 加速度の定義について理解する。 慣性力(見かけの力)について理解する。 振動する物体の運動様式を記述できるようにする。振動体のエネルギーを定式化する。 惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。 気体の状態方程式を学ぶ。気体の熱運動の様子から状態方程式が理論的に導かれることを知る。熱力学第一法則と気体の状態変化について理解を深める。 熱量の保存, 熱の移動のしくみ(熱伝導, 対流, 熱放射)の概念について理解を深める。 熱の利用の一例として熱機関を取り上げ, 背景に含まれる熱力学の基本法則について理解する。エネルギーの相互変換について知り, 自然界における普遍原理であるエネルギー保存則について理解する。自然現象における変化の方向について, その原理について理解する(熱力学第二法則)。			
	10月	第3部 電気と磁気 第1章 電界と電位 第2章 電流				電場中の電荷のポテンシャル(電位)について理解を深める。 コンデンサーの種類と性質について学ぶ。複数のコンデンサーを接続したときの合成容量の求め方を学ぶ。 電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則の物理的要因を考察する。 電気回路の基礎について理解を深める。			
	11月	第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波				磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。アンペールの法則(右ねじの法則)について学ぶ。 フレミングの左手の法則を理解し, 電流が磁界から受ける力を定量的に見積もる。磁界中の荷電粒子に働く力(ローレンツ力)の定式を導く。 レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。 電磁波の種類, その発生原因, 電磁波の性質について理解する。 物質の成り立ちを理解し, 気体の分子運動論, 熱力学の基礎について学ぶ。			
	11月	第3部 物質と原子 第2回定期試験				原子中の電子の振る舞いについて理解し, 金属, 半導体, 不導体におけるエネルギー状態を量子力学的に考察する。			
冬 休 み									
後 期	1月								

教科	理科	科目	物理	授業 時数	週4時間	教材	総合物理1, 2 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士舘大学進学クラス理系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4～6月	総合物理1・物理基礎との重複部は省略 第1部 第3章 剛体の釣り合い 物体にはたらく力のモーメント, 偶力 第5章 運動量と力積 第6章 円運動と単振動 第7章 万有引力 第3部 波 第1章 波の性質 正弦波を表す式と位相 第2章 音 第3章 光				剛体の釣り合いについて力のモーメントの概念を理解する。 運動量の定義, 運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。 円運動と円運動における速度, 加速度の定義について理解する。 惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。 実質的な3次元グラフによる, 波の表現式を学ぶ。波の回折, 反射, 屈折を学ぶ。地震波の伝搬の仕組みを地球の内部構造と照らし合わせながら考える。 音波の性質について学ぶ。ドップラー効果を算出できるようにする。 波動としての光の性質について学ぶ。像, 焦点など音までの波動では具体例のない各種現象について算出, イメージがつかめるようにする。			
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	光の続き				ニュートンリング, 回折格子について学ぶ。			
後期	10月	総合物理2・物理基礎との重複部は省略 第1部 第1章 電界と電位 第2章 電流				電場中の電荷ポテンシャル(電位)について理解を深める。コンデンサーについて学び, コンデンサーの合成容量の求め方を学ぶ。電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則を考察する。電気回路の基礎について理解を深める。□			
	11月	第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波 第3章 電気とエネルギー 第3部 物質と原子				磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。右ねじの法則について学び, Flemingの左手の法則を理解し, 電流が磁界から受ける力を算出する。ローレンツ力を導く。レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。電磁波の種類, その発生原因, 電磁波の性質について理解する。□			
後期	12月	第2回定期試験				原子中の電子の振る舞いについて理解する。			
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
	3月								

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週3時間	教材	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(理系)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	(化学Vol.1理論編) 1編 物質の状態 4章 固体の構造				固体物質の結晶構造を学び、固体中の粒子の配列を理解する。			
	5月	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光				物質に固有のエネルギーが存在することを認識し、化学反応に伴い熱の出入りが生じることを理解する。水で食品を温めることができる「ヒートバック」を利用し、災害時に役立つ化学を理解させる。			
	6月	(化学Vol.2物質編) 5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物				炭化水素や官能基での分類を学び、構造異性体の違いを構造式などで表せるようにする。官能基の性質や反応性の違いを理解する。元素分析による組成式や分子式を決定し、その化学的性質から構造式まで導き出せるようにする。			
	7月	第1回定期試験							
	夏休み	7月までの範囲の総復習							
前期	9月	4章 芳香族化合物 5章 有機化合物と人間生活				ベンゼンを中心とする芳香族化合物の分類と特徴を学ぶ。芳香族化合物の反応系統を理解する。 身の回りの有機化合物について、日常生活でどのように利用されているか学ぶ。			
後期	10月	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物				高分子化合物の分類と表記の仕方について学ぶ。天然高分子である糖類・タンパク質の成り立ち、構造・性質について学ぶ。合成高分子の成り立ち、性質について学ぶ。高分子化合物の新しい機能、その処理における課題について学ぶ。			
	11月	3章 高分子化合物と人間生活 第2回定期試験							
	12月	7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学				教科書に記載されている物質が、実社会でどのように作られているかを学び、化学物質と社会のかかわりについて考える。			
冬休み									
後期									

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週3時間	教材	化学Vol.2物質編(東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士館大学進学クラス理系)								
時期		項目				到達目標			
	4月 5月 6月 7月	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物 ニトロベンゼン誘導体(防災教育) 第1回定期試験				炭化水素や官能基での分類を学び、構造異性体の違いを構造式などで表せるようにする。官能基の性質や反応性の違いを理解する。元素分析による組成式や分子式を決定し、その化学的性質から構造式まで導き出せるようにする。 ベンゼンを中心とする芳香族化合物の分類と特徴を学ぶ。芳香族化合物の反応系統を理解する。 ニトロベンゼン誘導体とその危険性について学ぶ。			
夏 休 み									
前 期	9月	5章 有機化合物と人間生活				身の回りの有機化合物について、日常生活でどのように利用されているか学ぶ。			
後 期	10月 11月 12月	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活 第2回定期試験 7編 化学が果たす役割				高分子化合物の分類と表記の仕方について学ぶ。天然高分子である糖類・タンパク質の成り立ち、構造・性質について学ぶ。合成高分子の成り立ち、性質について学ぶ。高分子化合物の新しい機能、その処理における課題について学ぶ。 化学物質が実社会でどのように作られているかを学び、化学物質が社会に与える影響を考える。			
冬 休 み									
後 期	1月 2月 3月								

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 (文系自由選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー				生物の起源と生物に備わる機能について学ぶ。 生体内におけるエネルギーの吸収と放出について学び、それに伴う化学反応を理解する。			
	5月	2編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA				生物のDNAの構造について学び、DNAの持つ性質を理解する。DNA複製の仕方や、細胞分裂時におけるDNA量の変化を理解する。			
	6月	2章 遺伝情報とタンパク質				タンパク質合成に必要なRNAとDNAの違いを明確にする。また、タンパク質の構造を学び、タンパク質合成の流れを理解し、遺伝暗号表を読み取れるようにする。			
	7月	第1回授業内試験							
夏 休 み									
前期	9月	3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達				腎臓や肝臓の環境調節機能を学び、生物の恒常性を理解する。また、各種臓器や器官と神経系・ホルモンの繋がりを理解する。			
後期	10月	2章 免疫のはたらき				生体内で起こるウイルスや細菌に対する反応を学び、人に備わる免疫機能の種類とその違いを理解する。			
	11月	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移				植生の遷移の仕方を学び、世界のバイオームの分布と特徴が一致するよう学ぶ。日本各地にある植生と、台風・津波・地震などの自然災害の関連を学び、防災意識を高める。			
	12月	2章 生態系と生物の多様性 第2回授業内試験				自然界の生態系について学び、人間活動による生態系の保全を伝える。			
冬 休 み									
後期									

教科	理科	科目	生物	授業 時数	週6時間	教材	生物 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組, 3組 (理系選択必修)								
時期		項目				到達目標			
前期	5月	生体構造と細胞 タンパク質の構造と酵素				細胞におけるタンパク質の構造と働きについて理解を深める。 DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。			
	6月	代謝とエネルギー (防災時における行動とエネルギー使用含む)				呼吸と光合成について深く学びエネルギーの利用や変換を理解する。 防災時、迅速な行動をとるときに使用されるエネルギーについて理解する。			
	7月	遺伝子のはたらき 第1回定期試験				遺伝子の発現調節の概要を転写レベルの調節を中心に学ぶ。 →授業進度により範囲の変更有り			
夏 休 み									
前期	9月	生殖と発生				有性生殖における減数分裂と受精、初期発生の過程を学ぶ。			
後 期	10月	生物の環境応答				環境応答における各種の植物ホルモンや受容体のしくみを理解する。			
	11月	生態と環境 第2回定期試験				生物群集を構成する個体群の生態系内における役割りを学ぶ。 →授業進度により範囲の変更有り			
	12月	生物の進化と系統				生命の起源および生物の変遷を学び、生物と地球環境の変化を知る。			
冬 休 み									
後 期									

教科	理科	科目	理科演習(物理)	授業 時数	週2時間	教材	総合物理1,2 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	第1部 様々な運動(演習を中心に行う)				直線運動の発展として、放物運動を定式化し任意の点における速度や距離を求められるようにする。剛体のつり合いについて力のモーメントの概念を理解する。 運動量の定義、運動量の保存について学ぶ。力積(運動量の変化)について理解する。反発係数について理解する。 物体の運動の激しさ(破壊効果)を表す運動量から減災の方法について学ぶ。 円運動と円運動における速度、加速度の定義について理解する。 振動する物体の運動様式を記述できるようにする。振動体のエネルギーを定式化する。 口頭試問による試験(100点)			
	5月	第1章 物体の運動とつり合い							
	6月	第2章 運動量と力積							
		第3章 円運動と単振動							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第4章 万有引力				惑星の運動と回転運動を関連付けて理解する。万有引力について学ぶ。			
		第5章 気体分子の運動				気体の状態方程式を学ぶ。気体の熱運動の様子から状態方程式が理論的に導かれることを知る。熱力学第一法則と気体の状態変化について理解を深める。			
後期	10月	第3部 電気と磁気				電場中の電荷のポテンシャル(電位)について理解を深める。 電流の発生原因と大きさについて学ぶ。オームの法則の物理的要因を考察する。 磁気力と磁界の関係についてクーロンの法則と対応付けながら理解する。アンペールの法則(右ねじの法則)について学ぶ。 フレミングの左手の法則を理解し、電流が磁界から受ける力を定量的に見積もる。磁界中の荷電粒子に働く力(ローレンツ力)の定式を導く。 レンツの法則とファラデーの電磁誘導の法則について理解する。自己誘導と相互誘導について学ぶ。 電磁波の種類、その発生原因、電磁波の性質について理解する。 物質の成り立ちを理解し、気体の分子運動論、熱力学の基礎について学ぶ。 原子中の電子の振る舞いについて理解し、金属、半導体、不導体におけるエネルギー状態を量子力学的に考察する。 授業内試験(100点)			
		第1章 電界と電位							
		第2章 電流							
	11月	第3章 電流と磁界							
		第4章 電磁誘導と電磁波							
	12月	第3部 物質と原子							
		第2回定期試験							
冬 休 み									
後 期									

教科	理科	科目	理科演習(化学)	授業 時数	週2時間	教材	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	3編 化学反応の速さと平衡 化学反応の速さ			さまざまな化学反応について、各反応の速さの違いなどを反応のしくみとあわせて学ぶ。また反応速度の求め方を習得する。				
	5月	化学平衡			化学反応は常に一方向に進むとは限らないことを、反応速度の関係から学び、化学平衡の状態について理解する。条件の変化によって、化学平衡の移動が生じることを理解する。				
	6月	水溶液中の化学平衡			電離による平衡を学び、水素イオン濃度とpHの求め方を習得する。				
	7月	第1回授業内試験							
夏 休 み									
前期	9月	問題演習(化学基礎範囲)			実践アクセス総合化学、共通テスト過去問題で頻出問題の演習を行う。 弱点補強と実践力を強化する。				
後期	10月	問題演習(理論化学範囲)							
	11月	高分子化学総復習および問題演習演習			イオン交換膜などの原理などを確認し、「飲料水を確保する防災グッズ」などを理解を深める				
	12月	第2回授業内試験							
冬 休 み									
後期									

教科	理科	科目	理科演習(生物)	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎・生物 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年 2組(理系), 3組(自由選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	1編 生物の特徴(生物基礎)				生物の共通点、細胞小器官の構造と働きについての問題を解き、理解を深める。ATPが関連する代謝についての問題を解き、理解を深める。			
		1章 生物の多様性と共通性							
	5月	2章 生物とエネルギー				遺伝子の構造と性質、複製の仕方およびタンパク質合成についての問題を解き、理解を深める。細胞分裂におけるDNA量の変化を理解する。			
		2編 遺伝子とそのはたらき(生物基礎)							
		1章 遺伝情報とDNA				恒常性、腎臓と肝臓の構造と働き、自律神経系と内分泌系における調節について理解する。免疫のメカニズムについての問題を解き、理解を深める。			
6月	2章 遺伝情報とタンパク質								
		3編 ヒトの体の調節(生物基礎)							
	1章 体内環境と遺伝情報								
		2章 免疫のはたらき							
		授業内試験							
夏 休 み									
前期	9月	生物基礎 復習 生物多様性、免疫と防災				生物の多様性・保全、また免疫の内容を加味しながら、東日本大震災と防災について考え・学習する。計算問題やグラフなどを用いた考察問題を重点的に復習する上で、理解度を深める			
		自律神経系、内分泌系および免疫の演習							
		4編 生物の多様性と生態系(生物基礎)							
後期	10月	1章 植生と遷移				世界のバイオームについての問題を解き、理解を深める。また、そのバイオームの特長を捉え、解答できるようにする。			
		2章 生体系と生物の多様性							
	11月	2編 生命現象と物質(生物)				代謝における回路の流れを、問題を解き、理解を深める。			
		2章 代謝とエネルギー							
		3編 遺伝情報の発現と発生(生物)				DNAからタンパク質が合成されるまでの流れを理解し、問題演習に取り組む。動物の発生についての流れを問題演習を通して復習する。			
	1章 遺伝情報とその発現								
		2章 発生と遺伝子の発現							
	12月	授業内試験							
冬 休 み									
後期									

教科	理科	科目	理科演習(化学)	授業 時数	週2時間	教材	化学基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (自由選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	問題演習(物質の構成)				原子の構造について理解したうえで、化学結合の問題が解けるようになる。			
	5月	問題演習(物質質量と化学反応式)				物質質量の計算を正しく行えるようになる。			
		問題演習(酸と塩基)				酸と塩基の概念について理解し、電離および中和についての問題を解けるようになる。			
	6月	問題演習(酸化還元反応)				酸化還元の大枠をとらえ、酸化剤還元剤の式が書けるようになる。また、それを用いて計算問題が解けるようになる。金属のイオン化傾向について理解し、電池の問題が解けるようになる。			
	7月	第1回授業内試験							
夏 休 み									
前期	9月	問題演習(化学基礎範囲全範囲)				実践アクセス総合化学、共通テスト過去問題で弱点補強する。			
後期	10月	問題演習(化学基礎範囲全範囲)				実践アクセス総合化学、共通テスト過去問題で弱点補強し、国士舘大学入学レベルの学力を身に付ける。			
	11月	防災学習				災害時に起こり得る化学的二次災害について調べる。また対処するための知識や技術について学習する。			
	12月	第2回授業内試験							
冬 休 み									
後期									

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～9組(男子)								
時期		項目				到達目標			
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。			
	5週 ～ 8週	【卓球】 1) 基本的技能 ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的技能 ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム				体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。 自分や相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を巧みにを行い、ゲームを展開できるようにする。			
後 期	8週	＜選択球技専門＞ 【選択サッカー】 1) 集団的・グループ戦術 ・3対3、5対5、7対7のミニゲーム ・3対3、5対5、7対7の規則ゲーム 2) ゲーム ・11対11のフルゲーム				ゴール型球技2種目より1種目を選択 2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人技能・戦術のさらなる進歩と、集団としての創意工夫を目指し、チームとしての進化と達成感を得るようにする。			
	8週 ～ 10週	【選択バスケット】 1) 個人的技能 ・ドリブル ・シュート ・パス各種 2) 集団的・チーム戦術 ・オールコートでのアウトナンバーの攻防 ・マンツーマンディフェンスでの攻防 ・ゾーンディフェンスでの攻防 3) ゲーム ・5対5				2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開できるようにする。			

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組～8組(女子)								
時期		項目				到達目標			
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動				【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。			
	5週 ～ 7週	【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ 【ソフトボール】 1) 基本的技能 ① 守備 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング(下投げ) ② 攻撃 ・バットの握り方 ・バッティング 2) 発展的技能(ゲーム形式による練習) ① 守備練習 ・定位置でのノック(捕球) ・連携プレー(捕球→送球) ・ゲーム形式による守備練習 ② 攻撃 ・バッティング(フリー) ③ 走塁 ・状況に応じた走塁 3) ゲーム				体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。 投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付ける。相手の攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。 また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻防を展開できるようにする。			
	4週	<選択球技専門> 【選択バスケット】 1) 個人的技能 ・ドリブル ・シュート ・パス各種 2) 集団的技能 ・オールコートでのアウトナンバーの攻防 ・マンツーマンディフェンスでの攻防 ・ゾーンディフェンスでの攻防 3) ゲーム ・5対5				ゴール型およびネット型球技より2種目を選択 1年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、各種のゲームを実施し、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開できるようにする。			
後 期	4週	【選択バレーボール】 1) 基本的技能 ・パス ・サーブ ・スパイク 2) 集団的技能 ① 攻撃 ・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃) ② 防御 ・サーブレシーブからの攻撃 ・チャンスボールからの攻撃 ・ブロック 3) ゲーム				2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、個人的技能をもとに攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームを展開できるようにする。			
	4週	【選択卓球】 1) 基本的技能 ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的技能 ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム ・ダブルス				2年次に学習した基本的な内容を応用的に行い発展させ、自分や相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を巧みにを行い、ゲームを展開できるようにする。			

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	柔道教本 (共栄出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～9組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月 5月 6月 7月	学習のねらい				自己の形成を図る武道の精神を学び、日常生活に生かす態度を養う。基本動作を身につけ、対人的技能を生かした攻防の仕方を工夫して、練習や試合ができるようにする。また、ルールや審判の方法を学び禁じ技を用いないなど禁止事項を守るとともに、安全に留意して練習や試合ができるようにする。全て安全優先で行う。			
		柔道の意義・修行の目的 (男子)投げ技(小内刈り) 投げ技の復習・応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本				意義「精力善用・自他共栄」を理解させ人間教育を考えさせる。崩しの原理を理解する。 (女子)7本動作の動きを確認し、間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。			
		(男子)自由練習・投げ技 連絡技 背負い投げ→小内刈り (女子)離れた場合 5本				(男子)自由練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。 (女子)5本動作の動きを確認し、間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。			
		(男子)連絡技 背負い投げ→小内刈り・連絡技の応用 (女子)護身術 組みつかれた場合7本 離れた場合5本				(男子)背負い投げ→小内刈りのタイミングと相手に配慮をした投げ方受身の取り方を評価する。 (女子)12本の動作、取・受のメリハリ、呼吸が合っているかを評価する。			
		試験							
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 (男子)投げ技・連絡技・自由練習の応用 (女子)護身術 計12本の復習				安全な経路の確認、自助について学ぶ 大内刈り→背負い投げ・大内刈り→体落としなど、タイミングを覚える。 (女子)取・受のメリハリをつける。間の取り方と取・受の呼吸を合わせる。			
後期	10月	(男子)ルール・自由練習(立技・寝技)				試合の進め方とルール 禁止事項・安全性について学習する。			
	11月	(女子)護身術 計12本 復習と試験練習 試験				(女子)12本を通して行い、取・受のメリハリをつける。間の取り方、取・受の呼吸を合わせる。 (男子)大外刈り・大内刈り・背負い投げ・体落としから2種目。各3本ずつ投げる。投げ方、受身の取り方を評価する。 (女子)護身術12本を通して行い、取・受のメリハリや間合いの取り方、呼吸の合わせ方を評価する。			
	12月	(男子)3年間の総合復習 礼法 受身 打ち込み 固め技 自由練習 (女子)護身術 計12本の復習							
冬 休 み									

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材		種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組～9組(選択)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月・5月	《ガイドンス》 3年次の授業内容・学習のねらい				剣道の歴史や精神を学び、剣道を通して日常生活に必要な礼儀や生活態度を身につける。正しい構えから気剣体一致の技を出せる様になる。			
	6月	剣道形…1・2本目				打ち立ちと仕立ちの意味、役割を理解させる。			
		剣道形…3・4・5本目				礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を正確に理解させる。			
	7月	試験							
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方				安全な経路の確認、自助について学ぶ			
		試合・審判の理解				試合のルールを正確に憶える。 判定基準を明確にさせる。			
後期	10月	ポイント制の試合練習				試合方法を理解させる。 役割:主審(判定)副審2人(本数)			
	11月	団体戦(3人制・5人制)試合 試験				相手の動きに応じて打ったり、受けたりするなど簡易な攻防をする。			
	12月	団体戦(3人制・5人制)試合							
冬 休 み									

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	MOUSA 2 (教育芸術社)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期		器楽「アコースティック・ギター／ピアノ」 器楽「和太鼓」 ソルフェージュⅠ「音符と休符の長さ」 ソルフェージュⅡ「表拍と裏拍,三連符」 ソルフェージュⅢ「リズムを聴き取る練習,正確に打つ練習」 ソルフェージュⅣ「互いに聴き合いながらリズムを打つ練習」 鑑賞「族」 「太鼓ができるまで」 鑑賞「鼓童について」 「明日への扉」 試験(実技・筆記)				個々で任意の楽器を選択し、演奏実技を行う。 ソルフェージュ力を活かして、和太鼓の演奏技術を身につける。 リズム感を養い、楽譜を読んだり音を聴き取ったりする力を身に付ける。 和太鼓に関する造詣を深める。			
後期		器楽「アコースティック・ギター／ピアノ」 器楽「和太鼓」 災害と音のはたらき 校内発表(実技試験扱い) 試験(筆記)				個々で任意の楽器を選択し、演奏実技を行う。 ソルフェージュ力を活かして、和太鼓の演奏技術を身につける。 防災と音の関わりについて学ぶ。			

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書Ⅱ 305	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	書道Ⅰから書道Ⅱへ。姿勢と執筆法。 書道Ⅰで学んだ中国と日本の代表的な古典を鑑賞し、表現を学ぶ。臨書の復習。			芸術書道に親しむ。 書道Ⅰで習った内容を確認し、今後の書に生かす。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。				
	5月	漢字・仮名の古典を鑑賞し、特徴を生かして漢字仮名交じりの書を書く。漢字と仮名を調和させた表現方法を理解する。			書の表現力をつかむ。 古典作品の特徴をつかむことで表現力の幅を広げる。 筆法、道具による表現方法の違いを理解する。				
	6月	字の変遷の復習。楷書・行書の臨書。表現と鑑賞。書道Ⅰとは異なる独特の字形を理解する。			それぞれの古典の持つ特徴の理解。筆法・字形・筆順を理解する。				
	7月	草書の臨書。表現と鑑賞。筆順の違いや字形の省略などから特徴を捉える。			時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。				
夏 休 み		鑑賞。			日常の中での様々な書体を知る。				
前期	9月	隷書・篆書の臨書。表現と鑑賞。時代背景を学び、字形の特徴をとらえる。			それぞれの古典の持つ特徴の理解。				
		防災の用語を書く。			防災の用語を書くことで、防災に関する意識を高める。				
後期	10月	仮名の書。連綿の書き方。古典の鑑賞。 表現と鑑賞。			日本独自の書体・書法を鑑賞し、体験的に学習することで表現方法を理解する。				
	11月	仮名の書。散らし書きなどの表現方法。漢字仮名交じりの書。創作活動。			書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。				
	12月	漢字仮名交じりの書。創作活動。			書道Ⅰ、Ⅱで学んだ表現の特徴を自分の作品に生かす。用具用材による表現の違いをとらえる。				
冬 休 み									
後 期									
春 休 み									

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	美術(日本文教出版)	種別	高等学校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	自画像について(鉛筆素描)				自画像をとおして自己を見つめ直し、また他者と認め合う。鉛筆での表現を学ぶ。			
	5月	プロダクトデザインを学ぶ				デザイン画から製品への過程、成り立ちを理解する。			
	6月	コラージュによる自由なイメージ表現				コラージュ技法を体験し、より自由な開放された自身のイメージをビジュアル化する。			
	7月	写真について				画像情報過多時代を生き抜く視点を獲得する。			
夏 休 み									
前期	9月	防災デザインを考える(物・事・建築 etc.)				防災意識を高め、効果的なデザインを生み出す。			
後期	10月	彫金・金工風味を学ぶ				デザイン画から完成までの制作過程で、表現技術を学ぶ。			
	11月	スケッチ				スケッチをとおして物事への観察力を養う。			
	12月	メッセージアート、言葉を使った美術				言語を表現に使う体験をとおして新たな視座を得る。			
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
備考		〈使用画材・教材〉 画用紙・鉛筆・消しゴム・練り消し・アクリル絵具・筆・カッター・彫刻刀・版木・布 等							

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業 時数	週4時間	教材	LANDMARK Fit English Communication Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 Incredible Edible 英語検定対策 Lesson 2 Blood Is Blood 【第一回定期試験】				地域再生・食育・環境問題について学ぶ 英語検定に向け、英作文をマスターする 人権・生き方について学ぶ			
	5月								
	6月								
	7月								
夏 休 み	8月	夏休みの課題				進路に向けて宿題に取り組む。			
前期	9月	Lesson 3 Biomimetics				ナノテクノロジーの進展と環境問題について学ぶ			
後期	10月	防災学習				防災に関する単語をマスターし、英語で表現できる			
		Lesson 4				ようにする。			
	11月	Political Correctness				ジェンダーについて学ぶ			
	12月	【第二回定期試験】							
冬 休 み	1月					【副教材】 LANDMARK Fit Ⅲ WORKBOOK LANDMARK Fit Ⅲ サブノート			
後期	1月 2月								

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業 時数	週5時間	教材	ELEMENT English Communication Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組(文Ⅰ・選抜) 3組(理系) 4組(文Ⅰ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 2 Environment and Life 社会的な事柄について論説文(500語)を読んで、グラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理できるようになることを目指す。				<リーディング> 段落ごとに意味をつかみ、未知単語・未知熟語を推測しながら読む訓練をする。また、多様な読解演習から情報を素早く読み取る力を養う。 『SKYWARD CLOUDS Course 3rd Edition』を用いて、英語の長文読解に触れ、実践的な素養を養う。			
	5月	Lesson4 Humans and Technology 社会的な事柄について2つの論説文(各300語程度)を読み比べて概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することができるようになることを目指す。				<リスニング> 『スタディサプリENGLISH 4技能コース』 『共通テスト10分リスニングプレノート』			
	6月	Lesson 6 Education 身近な事柄について書かれたエッセイ(1000語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することができるようになることを目指す。				<英会話> 英語で防災に関するプレゼンテーションを行う。			
	7月	【第1回定期試験】							
夏休み	8月	<夏休みの課題>							
前期	9月	Lesson 7 Miracles of Nature 科学的な事柄について書かれた説明文(700語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することができるようになることを目指す。							
後期	10月	Lesson 8 Sustainable Development 科学的な事柄について書かれた説明文(1000語程度)を読んで、構文を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することができるようになることを目指す。							
	11月	Lesson 10 Human Relationships 身近な事柄について書かれた物語文(1000語程度)を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読む事ができるようになることを目指す。							
	12月	【第2回定期試験】 定期試験解説およびSKYWARD CLOUDSを使用して長文読解演習							
冬休み	1月								
後期	1月 2月								

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業 時数	週 4時間	教材	LANDMARK English Communication Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組(文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 Incredible Edible 実用英語技能検定対策				◆必要な語彙力を十分に身に付ける。 ◆意味をかたまりで捉え、英文を読む力を高める。			
	5月	Lesson 2 Blood Is Blood 実用英語技能検定対策				◆長文読解を通して、さまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深める。 ◆英文を声に出して読み、音読およびリスニングの力をつける。			
	6月	Lesson 3 Saving Our Treasures from the Sea				◆長文に関する問題を解き、課題解決能力を身に付ける。			
	7月					◆単元ごとに小テストを行い、学習到達度を確認し、既習事項の復習を習慣づける。 ◆実用英語技能検定の過去問題を演習する。			
		◎防災に関する授業				◆総合的な探究の時間で取り扱った問題を解説する。			
		第1回定期試験				試験範囲 L.1,L.2,L.3			
	8月								
	9月	Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains				◆意味をかたまりで捉え、英文を読む力を高める。 ◆長文読解を通して、さまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深める。 ◆複数人で問題に取り組み、話し合いや協力することにより、問題解決力を育てる。			
後期	10月	Lesson 5 Political Correctness				◆長文に関する問題を解き、課題解決能力を身に付ける。 ◆単元ごとに小テストを行い、学習到達度を確認し、既習事項の復習を習慣づける。			
	11月	Lesson 6 José Mujica: The World's Poorest President				◆英文を声に出して読み、音読およびリスニングの力をつける。			
	12月								
		第2回定期試験				試験範囲 L.4,L.5,L.6			
冬休み	12月 1月								
後期	1月 2月 3月								
備考		副教材として次のものを使用する。				LANDMARK E.C.Ⅲサブノート LANDMARK E.C.ⅢWORKBOOK			

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅢ	授業 時数	週4時間	教材	LANDMARK Fit Ⅲ LANDMARK Fit Ⅲ workbook	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 Incredible Edible				地域再生・食育・環境問題について学ぶ			
	5月	★英検受験				英語検定に向け、長文読解を練習する			
	6月	Lesson 2 Blood Is Blood Lesson 3 Biomimetics				人権・生き方について学ぶ ナノテクノロジーの進展と環境問題について学ぶ			
	7月	【第一回定期試験】				試験範囲: Lesson1～3			
	夏休み	8月 夏休みの課題				進路に向けて宿題に取り組む。			
前期	9月	Lesson 4 Political Correctness				ジェンダーについて学ぶ			
後期	10月	Lesson 5 Saving Our Treasures from the Sea				環境破壊・世界遺産について学ぶ			
	11月	Lesson 6 Body Imperfect				障がいや差別について学ぶ			
	12月	【第二回定期試験】 防災学習				試験範囲: Lesson4～6 防災に関する単語をマスターし、英語で表現できるようにする。			
冬休み	1月								
後期	1月 2月								

教科	英語	科目	論理表現Ⅲ	授業 時数	週2時間	教材	MY WAY Logic and Expression Ⅲ 英語構文ノート90	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年1組(文Ⅲ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 Survey Results				◆英語構文を理解し、問題に取り組むことができる。			
	5月	英語構文90 Itを含む構文(p.2～5)				◆4技能の均衡を図りながら、CDの音声を十分に聞き、正しい発音を発声することができる。			
	6月	Lesson 2 Writing an Email				◆内部推薦試験対策として、単元に対応した様々な問題に取り組むことができる。			
	7月	第1回定期試験				◆実用英語技能検定一次試験に合わせて、筆記試験やリスニング問題演習を行い、合格を目指す。			
夏休み	7月	夏休みの課題				◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。			
	8月								
前期	9月	Lesson 3 Writing a Blog				◆英語構文を理解し、表現することができる。			
後期	10月	英語構文90 不定詞を含む構文(p.6～8)				◆4月から7月まで学習したことも活用することで応用力を身につける。			
	11月	Lesson 4 Describing Activities				◆4技能の均衡を図りながら、CDの音声を十分に聞き、正しい発音を発声することができる。			
	12月	第2回定期試験				◆内部推薦試験対策として、問題集を選定し、実力を養う。			
	12月	定期試験の解説およびやり直し				◆高校卒業後、英語能力検定の取得やTOEICの点数を獲得するため、高校履修範囲の文法事項を理解し、使うことができる。			
冬休み	12月					◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。			
	1月								
後期	1月					◆防災学習として避難時の英語表現を学ぶ			
	2月								
	3月								

教科	英語	科目	論理・表現Ⅲ	授業 時数	週3時間	教材	Vision Quest English Logic and Expression II Crown Logic and Expression III	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年2組(文Ⅰ・選抜) 3組(理系) 4組(文Ⅰ)								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	『Vision Quest English Logic and Expression II』 ※2年生からの継続使用 Lesson 10 How might AI affect our lives?			【年間到達目標】 1) 正確な英文法を習得し、自らを表現する。				
	5月	Lesson 12, 5 What is important when we sell chocolate?			2) 英語の特徴を理解し、日本語にとらわれず英作文に取り組むことができる。				
	6月	How does overusing energy affect us? Lesson 8 Is Japan open enough?			3) 夏休み前までに基礎固めを完了する。				
	7月	【第1回定期試験】			4) 入試問題に対応できる実践力をつける。 『英語構文ノート90』 各クラスで既定の個数を定め、1週間に1度小テストを実施。 2組は10個、3組は5個、4組は5個である。				
夏休み	8月	<夏休みの課題>							
前期	9月	Lesson 2,3 What school events do you have? / Who is the best athlete?							
後期	10月	Lesson 4, 9 Is school media safe? What if you were rich?			『Vintage』 各クラスで既定の個数を定め、1週間に1度小テストを実施。 2組は100個程度、3組は30個、4組は40個である。				
	11月	『CROWN Logic and Expression III』 Lesson 1, 2 Global Language / Millenials' Consumption Trends 【第2回定期試験】			【到達目標】 Topicに対して、賛成及び反対の意見をこれまで培った表現技法を用いて書くことができる。				
	12月	定期試験の解説およびやり直し			Lessonの内容に合わせ、防災の内容を扱う。				
冬休み	1月								
後期	1月 2月 3月								

教科	英語	科目	論理表現Ⅲ	授業 時数	週2時間	教材	Vision Quest English Expression I Standard Ⅱ Hope CROWN Logic and Expression Ⅲ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年5組～8組 (文Ⅱ)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	【Vision Quest English Expression I Standard】 Lesson 12 What is your future goal?				【前期目標】 ・仮定法を理解し、活用することができる			
	5月	【Vision Quest English Expression Ⅱ Hope】 Lesson 10 How might AI affect our lives?				・数量表現を理解し、活用することができる			
	6月	Lesson 12 What is important when we sell chocolate?				・否定表現を理解し、活用することができる			
	7月	【第一回定期試験】							
夏 休 み	8月								
前期	9月	Lesson 5 How does overusing energy affectus?				【後期目標】 ・形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を 用いた文の構造を理解し、文を組み立てることができる			
後期	10月	Lesson 8 Is Japan open enough?				・直接話法、間接話法といった様々な伝達表現を用いて 文を組み立てることができる			
	11月	Lesson 2 What school events do you have? 【CROWN】 ・Global Language ・Space Odyssey				・自動詞と他動詞を使い分けることができる ・時制・助動詞・受動態を理解し、活用することができる ・仮定法・接続詞を理解し、活用することができる			
	12月	【第二回定期試験】 防災学習				・防災に関わる単語を調べ、防災に関する英作文を作る			
冬 休 み	12月 1月								
後期	1月					【副教材】 『Vision Quest English Expression Ⅱ Hope NEW WORKBOOK』 『英語構文90』 『総合英語 Vision Quest』 『高校リード問題集英文法A』			
	2月								
	3月								

教科	英語	科目	論理表現Ⅲ	授業 時数	週 2 時間	教材	MY WAY Logic & Expression Ⅲ 英語構文ノート90	種別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	Lesson 1 Survey Results 英語構文90 Itを含む構文(p.2～5)				◆内部推薦試験対策として、単元に対応した様々な問題に取り組む。			
	5月	不定詞を含む構文(p.6～9) ★英検受験				◆英語構文を理解し、問題に取り組む。			
	6月	Lesson 2 Writing an Email				◆実用英語技能検定一次試験に合わせて、英作文の問題演習を行う。			
	7月	【第一回定期試験】				◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。			
	7月					試験範囲: Lesson1・2 / 英語構文(p.2～9)			
夏休み	7月 8月	夏休みの課題				◆内部推薦試験対策として、問題集を選定し、実力を養う。			
前期	9月	Lesson 3 Writing a Blog				◆既習事項を活用することで応用力を身につける。			
後期	10月	英語構文90 分詞を含む構文(p.10～13) 動名詞を含む構文(p.14～17) Lesson 4 Describing Activities				◆英語構文を理解し、表現する。			
	11月	【第二回定期試験】				◆単元別に小テストを行い、知識を定着させる。			
	12月	防災学習				試験範囲: Lesson3・4 / 英語構文(p.10～17) 避難時の英語表現を学ぶ			
冬休み	12月 1月								
後期	1月 2月 3月								

教科	英語	科目	英語演習	授業 時数	週2時間	教材	英語総合問題集 TREASURE HUNTⅢ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年9組 (国士舘大学進学クラス)								
時期		項目				到達目標			
	4月	Unit1 記憶力と携帯電話の関係 文法:時制の総まとめ				大学入試問題を含む、様々なトピックの英文を扱いながら、英文の全体像のつかみ方、設問を解くための手掛かりを各Unitごとに学び、様々なスタイルの英文を読み解く力を身に着ける。また、各Unitの文法を使った英作文や、リスニング、英文の要約も行い、総合的な英語力を養う。 Unit1 言い換え、省略を手掛かりに英文を読む Unit2 キーワードに注目する Unit3 グラフ・表を読み込む Unit4 情報を整理する①			
	5月	Unit2 新聞配達の少年の苦労 文法:完了形のまとめ							
	6月	Unit3 フェアトレードとは 文法:助動詞の総まとめ							
	7月	Unit4 自転車の進化 文法:受動態							
	第1回定期試験								
夏 休 み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>				Unit5～8については各自で、または夏期講習で取り組む			
前 期	9月	・Disaster Prevention				防災についての語彙を学習したうえで、ペアまたはグループで災害時の行動マニュアルを作成する。			
		Unit9 スパイの採用試験 文法:関係詞①				Unit9 言い換えに注目する			
		Unit10 宇宙ゴミ 文法:関係詞②				Unit10 情報を整理する②			
後 期	10月	Unit11 Teach For Pakistan 文法:比較 Unit12 忘れられない贈り物				Unit11 つながれた語句に注目する Unit12 速読			
	11月	Unit13 観望天気とは 文法:仮定法 Unit14 論文の書き方 文法:後置修飾				Unit13 段落のつながりをつかむ Unit14 情報を整理する③			
	第2回定期試験								
	12月	Unit15 日本の新たな観光資源				Unit15 段落内の構造に注目する			
冬 休 み	1月								
後 期	1月								
	2月								
	3月								